

山梨県産業廃棄物再生技術アドバイザー事業申請書 作成要領

山梨県環境・エネルギー一部環境整備課

【令和3年4月1日改訂】

山梨県産業廃棄物再生技術アドバイザー事業申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日 (1)

山梨県環境・エネルギー部環境整備課長 殿

申請者 (2)

住所：山梨県甲府市丸の内一丁目6番1号

氏名：株式会社山梨

代表取締役 山梨 太郎 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号：055-223-1518

山梨県再生技術アドバイザー会議設置要綱第3条第2項第1号の規定に基づき、再生技術及び再生品について意見・助言を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

1 申請の目的 (3)	1 廃棄物が再生利用されるために新たな技術や再生品を開発するため ② 現に有している廃棄物の再生技術や再生品の品質をより活用可能な水準に向上させるため 3 自ら開発した再生技術等の利活用を促進するため、当該再生技術等の評価を受けるため	
2 産業廃棄物に関する内容	産業廃棄物の種類 (4)	汚泥
	発生工程 (5)	〇〇〇〇〇〇の工程に伴い発生
	発生場所の所在地等 (6)	山梨県〇〇市〇〇町〇〇番地 〇〇工場

(記 入 要 領)

記入にあたって

- ・現状、記入できない事項については、空欄のままでよい。
- ・提出にあたっては、正本1部と副本7部作成すること。

(1) 申請年月日

申請書を提出する年月日を記入する。

(2) 申請者

申請者の氏名又は会社・事業場の名称、住所並びに電話番号を記入する。
申請者が法人の場合は、代表者の氏名も記入する。

(3) 申請の目的

該当する申請する目的に○をつける。

(4) 産業廃棄物の種類

廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第2条各号に定める産業廃棄物の種類を記入する。

なお、産業廃棄物の種類だけでは分かりにくい場合には、具体的な名称も記載する。

記入例：ガラコン陶（廃瓦）

(5) 発生工程

産業廃棄物が発生する工程を記入する。

記載例：砂利洗浄に伴い発生したもの

：建設工事に伴い発生したもの

(6) 発生場所の所在地等

産業廃棄物が発生する場所を記載する。

記載例：山梨県〇〇市〇〇番地 〇〇工場砂利採取プラント

：山梨県内解体工事現場

2 産業廃棄物に関する内容	性状 (1)	有害物質は含有していない (別添資料○)。
	発生見込量 (2)	2,000t/年
	再生見込量 (3)	1,000t/年
3 再生品に関する内容	名称 (4)	○○○○
	利用用途 (5)	再生品に○○○の加工をすることで○○として販売することができる。
	再生技術の概要 (6)	汚泥に○○○○という処理をすることで○○○という性状になる。
	再生に伴い発生する産業廃棄物 (7)	再生に伴い○○が発生するため、産業廃棄物処理業者に委託処理する。
	規格 (8)	<ul style="list-style-type: none"> 1 日本工業規格 (J I S) 2 製品に適用される関係法令等で定める基準 ③ その他公的な機関が定める品質等の基準
	再生品の製造に要する費用 (9)	1,500 円 / t
	販売価格 (10)	3,000 円 / t

(記 入 要 領)

(1) 性状

産業廃棄物に有害物質が含有しているか等産業廃棄物の性状を記入する。
記載例：有害物質含有なし、含水率〇〇%以下

(2) 発生見込量

産業廃棄物の年間発生見込量を記入する。
記載例：〇〇 t / 年、〇〇 m³ / 年

(3) 使用見込量

産業廃棄物の年間使用見込量を記入する。
記載例：〇〇 t / 年、〇〇 m³ / 年

(4) 名称

(現在、検討している) 再生品の名称を記入する。

(5) 利用用途

(現在、検討している) 再生品の利用用途を記入する。
なお、再生品がそのまま製品として利用可能なのか、又は、更に加工することで製品となるのかについても記載する。

(6) 再生技術の概要

(現在、検討している) 再生技術の概要を記入する。

(7) 再生に伴い発生する産業廃棄物

再生に伴い発生する産業廃棄物があれば記載する。

(8) 規格

該当する規格に○をつける。ない場合には、4 なしを選択する。

(9) 再生品の製造に要する費用

産業廃棄物から再生品を製造するのに要する費用を記入する。
人件費や設備維持管理費などが考えられる。
記載例：〇〇〇〇円 / t、〇〇〇〇円 / m³

(10) 販売価格

(現在、検討している) 再生品の販売価格を記入する。
なお、再生品を施工等とセットで販売する場合には、この金額を記入する。
記載例：〇〇〇〇円 / t、〇〇〇〇円 / m³ (運搬費込)、
〇〇〇〇円 / m² (運搬費・施工費込)

3 再生品に関する内容	販売見込み（対象者・数量）(1)	対象者：県内の建設業者 数量：1,000t／年
	再生品のセールスポイント(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施行後、〇〇年間使用できる（耐久性） ・ 従来品と比較して〇〇に優位性がある（性状等）
	再生品で悩んでいること(3)	〇〇〇〇で悩んでいる。
	再生品の使用後の処理方法(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回収して産業廃棄物として委託処理 ・ 回収後、再生品として再利用可能
4 アドバイザーに求める意見・助言(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再生品に〇〇〇〇〇〇という性状を持たせたい。 	

(記 入 要 領)

(1) 販売見込み (対象者・数量)

再生品を販売する対象者及び販売見込み数量を記入する。

(2) 再生品のセールスポイント

再生品が (従来品と比較して) 優れていること等、セールスポイントを自由に記入する。

(3) 再生品で悩んでいること

再生品に関して悩んでいること等、自由に記入する。

(4) アドバイザーに求める意見・助言

アドバイザーに求める意見・助言を自由に記載する。

5 製造事業場 (1)	所在地	山梨県〇〇市〇〇番地
	名称	株式会社山梨 〇〇工場
6 添付書類等	1 会社案内 (2) 2 再生技術に関する説明資料 (別添1) (3) 3 産業廃棄物及び再生品の写真 (別添2) (4) 4 産業廃棄物が生活環境に影響を及ぼさないことの証明書類 (5) 5 再生品の製造に要する費用明細書 (6) 6 その他必要と認める書類 (7)	
7 担当者連絡先 (8)	所在地	山梨県〇〇市〇〇番地
	所属	製造部
	氏名	山梨 次郎
	電話番号	055-223-1518 (内線〇〇〇)

(記 入 要 領)

- (1) **製造事業場**
再生品を製造する事業場の所在地及び名称を記入する。
- (2) **会社案内**
パンフレット等を添付する。
- (3) **再生技術に関する説明資料**
別添1を記入する。
- (4) **産業廃棄物及び再生品の写真**
別添2に産業廃棄物及び再生品があればこの写真を添付する。
デジカメで撮影したデータを添付する方法でよい。
- (5) **産業廃棄物が生活環境に影響を及ぼさないことの証明書類**
計量事業者が発行する計量証明書
- (6) **再生品の製造に要する費用明細書**
再生品を製造することにより事業が成り立つか、販売価格が適正か等を確認するため、再生品の製造に要する費用の明細を添付する（様式自由）。
産業廃棄物の処分を請け負っている場合はこの費用、製造するのに必要となる設備投資費、人件費、設備維持管理費、光熱水費等を記入する。
- (7) **その他必要と認める書類**
山梨県環境・エネルギー部環境整備課長が、その他必要と認める書類があれば指示するため、これを添付する
- (8) **担当者連絡先**
当該事業の担当者について記入する。

別添1

再生技術に関する説明書

<p>再生技術の方法</p>	<p>産業廃棄物に〇〇〇〇を添付し、混錬し、〇日間屋内で養生することで、J I S〇〇に適合する性状を有する。 これを、〇〇〇〇の機械で〇〇〇〇に〇cm厚で吹付けることで〇〇として使用できる。</p>
<p>再生技術のフロー図 (産業廃棄物から再生品が出来るまでのフロー図)</p>	
<p>使用する薬品等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 〇〇〇〇 (MSDS添付) ・ 〇〇〇〇 (MSDS添付)
<p>再生技術に関する特記事項</p>	<p>〇〇〇〇〇に再生技術としての特性がある。</p>

別添2

産業廃棄物及び再生品の写真

産業廃棄物	<p>(ここに写真を添付してください)</p>
再生品	<p>(ここに写真を添付してください)</p>